

事業名	スポーツボランティア育成事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計		事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課			款		新規or継続	継続事業
	係	市民スポーツ係			項		市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	221	名称		目		義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業期間	開始年度	H26	実施方法	直営
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	人材育成事業
	施策	1	スポーツツーリズムの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	スポーツボランティアの確保およびスポーツイベントへの協力要請。
------	---------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	スポーツイベントの運営や歓迎に協力するスポーツボランティアの確保と育成を目的とする。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
スポーツボランティア登録者数	人	150	150	150	155	155

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	市主催のさのマラソン大会等の協力要請を行った。
--------------------------	-------------------------

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
ボランティア参加大会数	回	0	4	3
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円			
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支えるスポーツは市民の協力なしにスポーツ大会イベントの運営等を果たせず、スポーツを推進する上でスポーツボランティアの活用は重要である。
------------------	---

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
スポーツボランティア登録者数	人	58	51	12	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数0指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数1指標
	指標全体効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

人材発掘、確保する上でさらなる制度周知が必要である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☒ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	無償ボランティアであるため、公費による保険加入を検討する必要がある。